

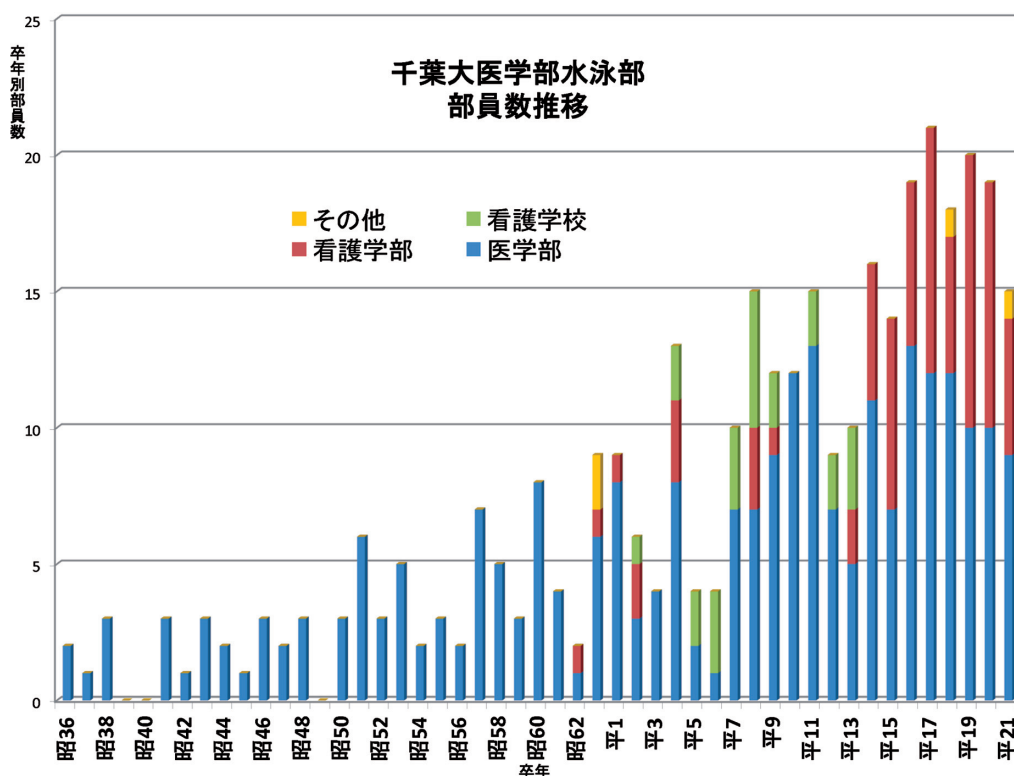
水 泳 部

白澤 浩

千葉大学医学部水泳部は、昭和34年に第2回東日本医科学生総合体育大会（以下、東医体）に参加した時に発足した¹⁾。草創期より昭和50年代までの詳細については、千葉大学医学部百周年記念誌²⁾に譲るが、発足後、昭和40年代までは10数名前後の小さなサークルであったが、昭和50年代には数十名のサークルとなった。昭和60年代以降、看護学部および他学部学生の参加により部員数は増加し続け、部活動も活発となっていった（図）。

現在では、医学部屈指のサークルに成長し、平成15年、16年と東医体において二連覇を成し遂げるまでに至った³⁾。平成21年には、創部以来のメンバーが集い、創部50周年を記念して盛大なる祝賀会が開催された⁴⁾（写真）。この間、昭和37年、昭和55年、平成19年に、それぞれ第5回、23回、50回（四大学共同開催）東医体の主管を行っている。

亥鼻キャンパスにはプールがないため、西千葉プールを全学水泳部と共に利用しているが、その他



に千葉市コミュニティーセンターのプール等を利用した時期もあった。近年部員が増えてからは、西千葉プールに加えて千葉県国際総合水泳場を利用して練習に励んでいる。現在では、東医体に加えて、ウィンターカップ水泳競技会、筑波・千葉対抗戦、東日本医歯薬看護学生水泳競技会、杏林・千葉対抗戦、全学医水対抗戦、日本看護学生水泳競技会、千葉五大戦（旧四校戦）等に参加している。

また、近年は新年会、スキー旅行、ラーメンツアー、新歓旅行、クリスマスパーティー等の行事も行われ、部員間の親睦も盛んである。このような隆盛と部員数との間には相関のあることが見て取れ、

同じ亥鼻キャンパスの看護学校、看護学部学生の参加が大いに貢献したと思われる。

現時点の部員数は、医学部86名、看護学部32名、計118名と医学部最大の部活となっている。平成18年からは、不定期に開かれていたOB会も定例で開催されるようになった。現在のOB数は、医学部338名、看護学部70名、看護学校25名、理学部2名、助産婦学校1名、薬学部1名、総勢437名である。

歴代の部長には、百瀬剛一教授、高見澤裕吉教授、橘正道教授、伊藤晴夫教授、落合武徳教授にお務め頂き、現在の部長は生水真紀夫教授である。



千葉大学医学部水泳部創部50周年記念祝賀会(平成21年9月5日,SKY WINDOWS 東天紅)

【引用文献】

1. 青木謹,「水泳部よ永遠なれ」 千葉県ゐのはな会会誌 Vol.9 (2009)
2. 青木謹,「水泳部」 千葉大学医学部百周年記念誌 (1978)
3. 「水泳部東医体連覇祝賀会」 ゐのはな同窓会報, 第138号 (2005)
4. 「千葉大学医学部水泳部 創部50周年記念祝賀会開催」 ゐのはな同窓会報, 第154号 (2010)
(しらさわ ひろし)